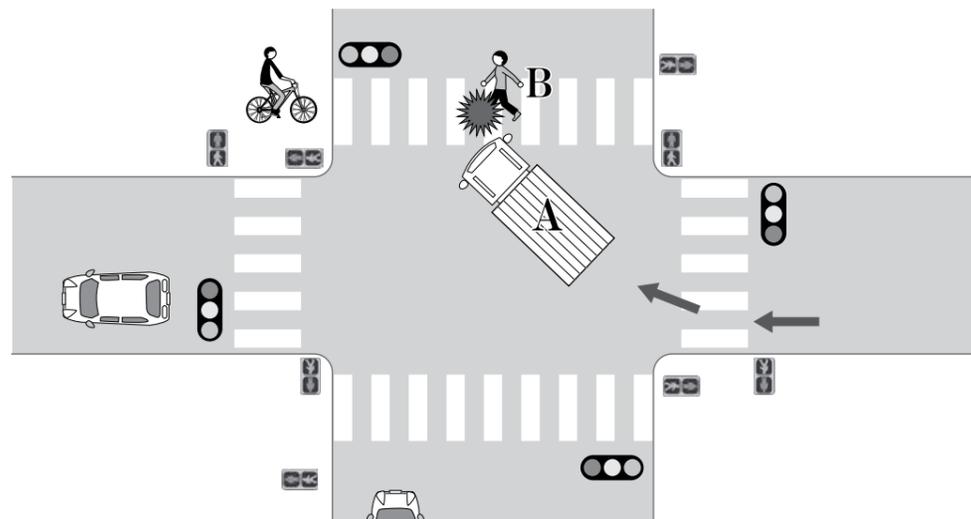


# 職場における交通安全指導

Part 131

## 交差点を右折する際、横断歩道を横断中の歩行者と接触



### ■事故の概要

- 事故の当事者  
当事者A（大型貨物車）：50歳代、男性  
被害者B（歩行者）：60歳代、男性
- 被害状況  
A：右前部擦過  
B：重傷（左半身打撲、頭部挫傷）
- 道路状況  
片側一車線の信号機のある十字路交差点

### 事故状況

大型トラックの乗務経験が20年になるベテランドライバーAは、過去に一度だけ物損事故を起こしているが、それ以降18年間は無事故無違反を継続し、社内でも信頼の厚い模範ドライバーであり、後輩社員の指導にも当たっていた。

事故当日は、午前8時に乗務し横浜市内の物流センターで日用雑貨品を積み込み、大型スーパーなどの量販店にルート配送する業務に従事していた。

配送途中に渋滞に巻き込まれたAは、遅れを取り

戻すために焦りと先急ぎの心理が運転操作に現れ、さらに渋滞を抜けてからは通り慣れた配送ルートを行っていたため安心してしまい、危険や注意に対する意識が薄れてしまっていた。

事故現場は十字路交差点で、この交差点を右折して次の配送先に向かおうと対面信号機に従って右折する際、対向車の安全を確認しながら右折を始めたが、右折先の横断歩道の左方に自転車が停止して横断するものと思い一旦停止をした。しかし、自転車が動く様子がなかったため、先を急ぐAは自転車は横断しないものと思い発進すると、右側から横断してきた歩行者に気づかず接触し転倒させた。

### 事故の原因

事故の原因は、運転者Aの心理的要因として先急ぎの心理に陥り、自転車の存在に気付いて停止したものの、自転車がいきなり横断する気配がないためイライラしてしまい、冷静な判断ができない状態で周囲の安全確認を忘れて招いた事故と考えられます。

### 安全指導

運転者としての安全確認については、交通状況に即した確認は当然であり、自転車トラックの周辺における他車や歩行者への注意も怠ってはいけません。

これらの状況や運転者の心理状況は運転にも影響を大きく与えます。

道路形状別において、「交差点とその付近」での事故は、例年高い割合で推移しています。

2022年度上半期の当組合で発生した対人事故における「交差点およびその付近」の事故は、全体の45.1%と高い比率で発生しています。

2022年度上半期（4月から9月末現在）

区分 類型	対人（総件数153件）			
	件数	構成率	前年比	増減率
交通弱者	27	17.6%	5	22.7%
車両相互	42	27.5%	4	10.5%
合計	69	45.1%	9	15.0%

当組合は、交差点事故を交通事故防止の重点項目の一つに掲げ、最重要課題として取り組んでいます。

今回のような右折時の横断歩行者などの交通弱者には十分注意を払い、「かもしれない」運転を実践し交差点事故の根絶に努めるとともに、運転者の心理状態が不安定だと注意力が散漫となり運転に与える影響が大きいため、運転に集中した基本動作を徹底しましょう。

### 事故防止のポイント

#### ①「あせりの心理」

今回は、配送先に向かう道路の渋滞により、Aに配送遅延による「あせり」の気持ちが出てしまい、先急ぎの心理が現れたことが直接的な原因と思われ、その気持ちが事故を引き起こしたものと考えられます。

特に渋滞時における「あせりの心理」は、いつでもどこでも起こりうることを念頭に置き、自分を客観的に見つめることができるよう習慣づける必要があります。

#### ②安全運転義務違反

交通事故原因で一番多いのが「安全運転義務違反」です。安全運転義務違反には次の6項目があります。

- ア. 操作不適  
ペダルの踏み間違いや、ハンドル操作ミスによる事故
- イ. 前方不注意  
ぼんやりや、注意散漫による漫然運転が原因の事故
- ウ. 動静不注視  
相手車両の存在をあらかじめ認識していたが、危険はないものと、注視を怠っておきた事故
- エ. 安全不確認  
安全確認を怠り、車両や歩行者の見落とし、発見の遅れによる事故
- オ. 安全速度違反  
速度規制に違反しないものの、見通しの悪い場所で徐行を怠ったり、速度が出過ぎたことによる事故
- カ. 予測不適  
「〇〇だろう」と勝手な思い込みによる運転など、相手の動きの予測を誤ったことによる事故

今回のケースは、エの右方の安全確認を怠った「安全不確認」により、相手歩行者を未発見のまま接触し転倒させた交通事故です。さまざまな交通事故の原因は、前記のケース等に分類されるので、しっかり6つの項目を理解して日々の運転業務に反映させるとともに、ドライバーが安全に走行するためには、広範囲に亘っての目配りや気配りが大事であることから、常に危険を予測した運転を実践できるようご指導ください。

職場における交通安全指導は当組合ホームページに掲載しております。

詳しくはこちらから

